

親子はじめての乾杯。

そんな時だからこそ、話せる思いがある。

ハレノヒの特別な贈り物

晴織
-HAORI-

新成人、おめでとうございます。



継ぐモノがたり

伝統産業が抱える課題を解決するため立ち上がった大学生たち。その思いに共感し、アイデアの具現化と実装を支援する企業とともに新成人の皆さんに向けた商品開発に取り組みました。

こんにちは、 継ぐモノがたり プロジェクトです

福岡在住の大学生が主体となり始動した、「継ぐモノがたり」プロジェクト。
我々は、宮田織物様、喜多屋様、松尾和紙様と共に、九州に受け継がれてきた伝統文化を次世代に受け継ぎ、新たな贈り物文化を創るプロジェクトとして始動しました。
“伝統文化・工芸に込められてきたストーリーに、1人1人のストーリーと思い出を重ね、大切に使い継ぐ体験を届けたい”
そんな想いからこのプロジェクトは生まれました。

晴織 はただのお酒ではなく、ありがとうのきっかけ。

贈り物を準備する時から、「ありがとう」と言葉にしなが渡し、大切な人と共に乾杯をして今までの20年を語り合う時まで。「晴織-HAORI-」は、ありがとうを贈る全ての時間をデザインする日本酒のギフトセットです。

八女の酒蔵が仕立てた日本酒と、筑後織の贈答用包み布。ラベルには、八女の工房の和紙を使用しています。ラッピングの筑後織は2枚組になっており、成人の日の特別な思い出と共に、親子でシェアして、大切に使い継ぐことができます。



日本酒

株式会社喜多屋



「酒を通して多くの喜びを共有する」を理念に、情熱を込めた酒造りを続けている酒蔵。「主人自ら酒造るべし」の家憲のもと、社長と蔵人が一体となって、酒造りに取り組んでいます。「芳醇爽快」で口の中で丸く広がりながら喉をすっと通っていく喜多屋の日本酒は、世界中から愛され数々の賞を受賞してきました。

包み布

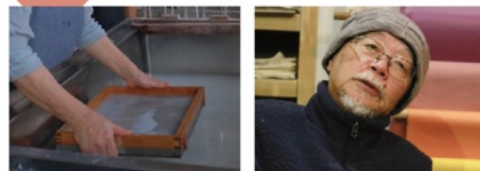
宮田織物株式会社



「見えないところに手を抜かない」を理念に112年続いてきた筑後織の織元。生地から商品が出来るまで、工場で一括生産で作上げる宮田織物の商品は、社員の皆さんの「宮田への愛情」と「細かな手作業」によって作り上げられています。大学生とのコラボなども積極的に行い、温故知新の精神でものづくりに真摯に向き合っています。

ラベル

松尾和紙工房



100年以上前から八女市で盛んに行われてきた紙漉きを続けてきた和紙工房。八女の和紙は丈夫さが魅力です。手で紙を漉くという技術は人の手によって受け継がれてきた伝統であり、繊細で感覚的な技術が必要な作業です。様々なデザインやものに应用することができる和紙は、その美しさや変わらない価値で、人の心を掴んでいます。

特別な日に、特別な贈り物で 気持ちを伝えてみませんか？



贈り方

- ①写真にメッセージを書き入れる
- ②2枚の布で包む
- ③贈る
- ④一生に一度の乾杯を！



今回の贈り物は、届くだけで完成ではありません。
20歳の皆さんから親や大切な人へ、自分の思いごと贈っていただくために、思いを込める一手間を加えられるように準備をしました。
福岡県の筑後と八女の伝統文化・工芸に込められたストーリーに一人ひとりの思い出を重ねて、大切なひとときをお過ごしください。

福岡県 SDGs 推進ポータルサイト 「サステナふくおか」



SDGsに取り組む方や、これから取り組みを始めようという方のために、優良事例の検索や交流、マッチング支援を一元的に行っています。
ぜひご活用ください！

本プロジェクト取材の様子は
こちらに紹介されています！

